



## 4/20(日) 祝・50周年イースター礼拝と祝会



今年のインスター礼拝と祝会では、ゴスペル部、ハンドベル部のほかに、吉田勝彦兄の集大成的な新ネタ？、佐藤義明兄の歌が披露されました。



母の日5/11

「母の日」では、子どもたちからお母さんにありがとうの気持ちをこめたお手紙を手渡し。



## 牧師のコラム

### 『聖書の鳥』

仁井田義政 牧師

先日、朝の五時頃、教会の裏山で美しく鳴く鶯の声で目を覚ましました。何と美しい鳴き声でしょうか。梅の花は遠に終わり、桜の花も散り、葉桜に変わりつつあります。このような季節に、鶯の美しく鳴く声を聞くのは、何か得をした感じもしました。それは、梅の花が終わっているからです。そもそも梅の花と鶯との組み合わせ事態に、無理があるのかもしれない。 「梅と鶯」の写真や絵を見て直ぐに気付くのは、その鳥は鶯ではなく、メジロという種類の小鳥であることが多いのです。実は鶯は地味な色の鳥で、メジロのような派手な小鳥ではないのです。メジロはその字のように「目白」で、目の周りが白い色で縁取られており、とても愛くるしい小鳥です。しかし鶯は、あの「ホーホケキョ」の美しい鳴き声とは裏腹に、黄緑色の地味な鳥です。鶯は、笹藪の中に身を隠すように飛び回り、その巢も、笹藪の中に笹の葉を

用いて作られた目立たないものなので  
す。

私達は鳥というと、鶯は見栄えの無い鳥よりも、見栄えの良いメジロを鶯と思いつ込んでしまうところがあります。

聖書には鶯のことは記されていませんが、イエス様の教えの中に「空の鳥を見なさい」（マタイ六章二十六節）という言葉があります。またその後には「野のゆりを見なさい」（マタイ六章二十八節）と続いています。その為に、花の美しさに引っ張られて、可愛らしい小鳥を想像し、花咲く野原の上を小鳥が歌を歌いながら、飛び交っている様子を想像してしまいます。そこで「詩人イエス様」等と言う言葉も生まれてしまうのです。もちろんイエス様が、詩人でもあったことは私も否定しません。しかしイスラエルには、百合の原種は無かったので、アネモネのことか、あるいはシクラメンの原種であったろうと言われています。アネモネの花も、シクラメンの花も、百合の花に劣らない美しさと可憐さを持った花ではあります。私がイスラエルに行った時にも、ちょうどシクラメンが野原に咲いていました。野原で見るシクラメンの花

は、全てに優って美しく見えました。

さてイエス様が「空の鳥を見なさい」

と言われた鳥とは、どのような種類の鳥だったのでしょうか。鶯だったのでしょうか。鶯よりも愛らしい目をしたメジロだったのでしょうか。あるいは、丸い体系が何とも可愛い雀だったのでしょうか。聖書は、その種類をはっきりと書いています。その鳥とは「鳥」（ルカ十二章二十四節）のことです。つまりマタイでは「鳥」と書き、ルカではその鳥の種類を書いているのです。こう書いても「鳥」と「鳥」と何処が違うのですかと、質問されてしまうような気がします。漢字では同じように「鳥」と呼んでしまいがちなのです。よく漢字を見て下さい。「鳥」という漢字には目が書かれており、「鳥」には目が書かれていないのです。カラスつまり鳥は、目まで黒いので目があることさえ分かりづらいいいことで、目を書かないで「鳥」としたのです。もしカラスの目がメジロのような白で縁取られていたならば、違った名前と呼ばれるようになったでしょう。さらにイエス様が言われたのは、可愛い小鳥のことではなく、カラスのことであったということに

なると、意味は一気に変わってしまいません。カラスは雀よりも価値のないものでした。雀は「二羽で一アサリオン」（マタイ十章二十一節）で売られていたのです。それはペットのためではなく、焼き鳥の為にです。「まあ残酷」との悲鳴が聞こえてきそうですが、実際にそうだったのです。しかも四羽買うと、一羽がサービスとしてもらえました。カラスは、その雀よりも価値がなかったのです。カラスを買う人はいませんでしたし、上げますという人がいても、貰う人などいませんでした。それは、カラスが不吉な鳥として、忌み嫌われていたからです。

そこでイエス様の「鳥のことを考えてみなさい」という教えに戻ります。つまりイエス様は、「たとえあなたがたがカラスのように、人々から何の価値も無いものと思われたり、人々から忌み嫌われるものであったとしても、心配する必要などないのです。天の父「神様」は、カラスさえも養って下さっています。あなたがたは、カラスよりもっと優れたものではありませんか。神様は必ずあなたがたを養って下さいます。だから心配するのを止めなさい」と話して下さったので

す。私達も、神様の守りを信じて、心配や不安から解放されましょう。



## ■礼拝のZoom配信が始まりました！

3月より毎週の第一礼拝のZoom配信が始まりました。日曜日、事情があつて教会に来られない日も、リアルタイムで他のみなさんと一緒に礼拝をささげることができまますので、教会員の方はぜひ活用ください。

- ・配信  
毎週日曜 9時〜第一礼拝  
※合同礼拝の場合は時間変更
- ・対象者  
当教会の教会員のみ

・URL  
受付にある案内をご確認ください。  
(または牧師・幸子先生まで)

### 【注意】

Youtubeと違い、礼拝の最初から最後までを配信するため、対象者を限定しています。URLを当教会の会員以外の方に転送したり、SNSなどで共有することはできません。

Zoomで参加する場合は、入室する際に名前の入力がありますので、どなたかわかるようお名前を入力をお願いします。

♪ご参加お待ちしております♪

## ■50周年記念礼拝

3月30日(日)当教会の50周年記念特別礼拝が行われました。

1月の役員部長会で「今年は教会ができて50年だから、イースターを豪華にしましょうか」という話が出たのが始まりでした。会議の中で「せっかくだからイースターとは別に、50周年はちゃんとお祝いしたい」ということになり、仁井田先生達が伝道を始めた3月30日が今年の日曜日だったので、ではその日に記念礼拝をしましょうということになりました。

2月の教会会議のときにも、記念品について意見が出て、お菓子もいけれども、50周年なので、何か形に残るものが良いのではということになりました。

そうして50周年記念イベントのプロジェクトが立ち上がり、どういう記念品がよいか、みんなで検討しました。

こういうのは(想像つく方もいらっしやるかと思いますが)みんなが欲しいものが年代、性別、好み・・・で全く違ってくるのでなかなか決まらないものです。

「ボールペンは何?」「よくもらうので家にたくさんあるし」「やっぱりお菓子は」「食べたらなくなっちゃうし」「マグカップは」「家族みんなの分が増えるとかさばりそう」・・・と全然決まりません(笑)

そんな中、とある姉妹が出してくれたトートバッグということで決まり、なんと

かホッ・・・としたのもつかの間、サイズは?「大きい方が使いやすい」「小さい方が使いやすい」、色は?「明るい色が」「暗い色が」と、いろいろな意見が出て、またなかなか決まらず。毎週礼拝の後にメンバーで集まり、トートバッグの見本をいくつも取り寄せ、生地の強さを見たり、紐の長さを見たりして、みんなでたくさん話し合いました。

その結果、ちよつとしたお買い物などでも使える、聖書を入れたりして持ち歩くのにも使えるサイズの黒いバッグにしよう、ということになり、記念礼拝当日みなさんにお渡しすることになりました。

その日は、牧師が会堂をかわいく裝飾してくれて華やかな雰囲気の中、ゴスペル部

の特別賛美もあり、大変良い記念礼拝となりました。

最後に、先生たちにお祝いの気持ちを込めて大きな花束とプレゼントを渡し、外に出てみんなで記念撮影をしました。

50年という長い期間、おそらく仁井田先生達にはあつという間だったのかも知れませんが、いろいろなことがあつたのではないのでしょうか。嬉しかったこと、楽しかったこと、つらかったこと・・・教会員の私達と一緒に分かち合えたことも、先生たちだけで祈り解決されたこともたくさんあつたのではないかと思います。

その一つひとつを神様はすべてご存知ですつと一緒にいてくれたからこそ、今のウインディチャペルがあることを感じ、大きな感謝のときとなりました。

次は60周年!まだまだ時間があるので、次のトートバッグのデザイン検討にたっぷり時間をかけることができるな・・・と思いましたが、次はボールペンかもしれないので、また9年後くらいにプロジェクトのみんなで集まって1から検討したいと思います(笑)

日々、私達と一緒にいてくださる神様と、私達のために祈り信仰をサポートしてくる仁井田先生、幸子先生に感謝です。

50周年、おめでとうございました!

(記:小俣姉)





■イースター礼拝と祝会の感謝について  
ハレルヤ。証、出来ることを感謝します。  
今回、イースター礼拝と祝会でゴスペルとギターの弾き語りの奉仕をさせてもらいました。まず、奉仕するにあたって、体調がずっと守られて、無事に奉仕できたことが何よりも何よりも感謝でした。僕は体調の波が激しく、眠れなかつたり、自分を強く責めすぎてしまったりして、落ち込んでしまつて、教会に来ることもできなかつたりしたので、教会で奉仕できることをすごく嬉しく思いました。そして、今僕が抱えている滑舌の病気(舌ジストニアという神経内科の病気)も、とても不安要素で、ちゃんと伝えることができるかとても心配でした。でも、本番のステージでは神様はそれも守ってくださいました。

最近歌を練習する中で、人にはどうしようもない部分があると感じています。技術の向上や感情的な部分、そして人間性。まるで、大きな海の中でどこが右か左かもわからず、小さなボートを漕ぎ続けているような感覚に近いと思います。どつちをいけば人に伝わるようになるのか。そして変わっていくのか、常にわからない状態です。

でも、神様はこんな僕を用いて下さって、愛してくださって、どんな歌が前に進めるように、道標になって今も指し示してくださっていることに感謝しても感謝しても尽きないくらいです。

僕には大きな夢があります、それは僕がプロになって、沢山の人の前で歌えるようになったとき、自分がクリスチャンだと告白して、神様を知らない人に神様の愛を伝えることです。そして、日本のクリスチャン人口が増えていくことです。それを今回の奉仕を通して、そして病気を通して、覚悟を決められたような気がしています。これからも祈りつつ、神様の愛を伝えていくボーカリストとして成長できたらと思っています。本当に今回の奉仕、感謝でした。ありがとうございました。

(記…佐藤義明兄)



## ■ユースキャンプに参加して

今回のユースキャンプは、本教会から8名参加しました。

テーマは「主に向かってSTEP UP」

日本チャーチ・オブ・ゴッド教団の小石臨先生をお迎えし、聖霊に満たされ続けた3日間を過ごしました。

今回のユースキャンプを通して大きく2つの恵が子どもたちに与えられました。

1つは信仰的な成長につながったこと。子どもたちにとって、普段ふれることのない多くのワークショップを通し、賛美の素晴らしさに気づく恵が与えられました。(お気に入りのワークショップができました！という声もたくさん♪)

また、聖会や分科会を通して自分と神様の関係を見つめ直し、信仰的にステップアップしようと決心する者もいました。

もう1つは、「つながり」の変化。

レクリエーションやディスカッションを通して他教会の人と交流の時間を持ったことで、同世代のクリスチャンの存在に刺激を受けたように思います。

そして何よりもウインディキッズ内で

の仲も以前よりグッと深まり、素晴らしき交わりのときとなりました。

3日間主に守られ、キャンプが終わった後も、子どもたちそれぞれのかたちで信仰の炎を燃やされ続けたという想いが与えられたことに、感謝します。

(記：舞生姉)



## ■墓前記念会



今年の「墓前記念会」は、曇天でしたが、この季節ならではの新緑の瑞々しさが大気に満ちて、暑くもなくとても過ごしやすい中、持たれました。

今回は、水田兄のお父様の納骨も行われ、先に召された姉姉に加えられました。天の御国から私たちを見ておられると思うと、再会の喜びも楽しみになります。希望に満ちて墓地を後にすることができ感謝です。

(記：桜井聡兄)

## ■映画と聖書 その2

今回は『教皇選挙』(2025年)をご紹介します。「教皇」とは「ローマカトリック教会の最高位聖職者」(出典『大辞林』のこと。この映画ではコンクラベという「枢機卿の互選による教皇選挙会議」(同『大辞林』)が描かれます。映画の公開中に現実の世界で教皇が亡くなり、実際に教皇選挙が行われるというまさに劇的な展開となり、日本でも話題になりました。

そもそもカトリックにおける「教皇」とはどんな存在なのでしょう。カトリックのミサの中では毎回、世界中の教会とクリス



チャンが愛で満たされるよう祈るのですが、その際に奉仕者である「○教皇」の名前を挙げて祈ります。

映画の中で枢機卿たちは教皇を「殿下」と呼んでいます。一般のカトリック信徒は教皇を「パパ様」と呼びます。英語で「教皇」は「Pope」だからだと思います。教皇の体調が悪い時には、「パパ様のために」とミサの中で祈ります。カトリック信徒にとってパパ様は、会ったことはないけど親しみを感じる優しい校長先生みたいな存在です。

私自身は、幼い頃から毎週カトリック教会に通いながらも儀式が主体のミサにどうしても気持ちが入らず、溝の口教会に移りました。そんな私ですが、この映画に見る聖霊の働きは、教派を越えて全クリスチャンの心に響くものだと感じました。

### 【あらすじ】

教皇の急逝を受け、新たな教皇を選ぶために世界各地から百人以上の枢機卿がバチカンに集まります。名簿に載っていないメキシコ人枢機卿まで現れて、選挙を仕切るトマス・ローレンス首席枢機卿は大忙しです。新教皇の有力な候補者は、リベラル派のアメリカ人枢機卿、初のアフリカ系教皇になる可能性のあるナイジェリア人枢機卿、リベラルを嫌悪する伝統主義のイタリ

ア人枢機卿、穏健な保守派のカナダ人枢機卿の4人。ローレンス枢機卿は投票を前にした説教で「信仰には疑念が必要だ」と皆に語りかけます。実は彼自身が教会に疑いを抱き、信仰の危機にあるのでした。新教皇決定には三分の二以上の得票が必要ですが、票が割れてなかなか決まりませんが、数日にわたって投票が繰り返され、舞台裏では政治的な思惑や根回しの世界が展開します。候補者たちの中にはどうやら隠し事をしてる者もいるようです。もしかしたら利己的な思いから自分が教皇になることを望んでいるのではないかとも思われます。会議を取り仕切るローレンス枢機卿の信仰が揺らぐ中、果たして主のみのころはどんな形でその場にあらわれるのでしょうか。

英国人作家のロバート・ハリスは、先日亡くなったフランシスコ教皇が選出された2013年のコンクラベの報道を見て、原作となる小説「Conclave」を書きました。教皇が急逝したというシーンから映画は始まります。話が進むうちに、亡くな

った教皇は極めてリベラルで革新的な人物だったということが分かります。多様性を容認したフランシスコ教皇がモデルになっていると思われます。

主人公である首席枢機卿の名前トマス・ローレンスが象徴しているのは使徒トマスであろうと思われました。復活祭の次の主日礼拝で仁井田牧師は、トマスは疑いを抱いたけれど彼の信仰はとても純粋なものだったと教えてくれました。これを聞いて、作品への理解がさらに深まりました。聖職者とはいえ神様の前では誰もが同じただの人。過ちを犯し、疑いを抱きます。道に迷い、どこへ進めば良いのか分からなくなっている時、思いがけない形で主のメッセージは届けられます。それを確実に受け止めて軌道を修正し、みこころに沿った選択をすることが大事なのだな、と感じさせてくれる『教皇選挙』でした。

この映画には、一見しただけでは気づかない伏線がいくつも張り巡らされています。もっといろいろ書きたいところですが、ネタバレになってしまうので、ここまででしておきます。鑑賞済みの方はぜひ感想を聞かせてくださいね。(田口)

### ■お手紙

3月に、いつも教会に来ている美優ちゃんが仁井田先生・幸子先生にお手紙をくれました。内容がとてもかわいらしく、幸子先生より、ぜひみなさんにも見ていただけたらということで、ご本人に許可を取り掲載させていただきます。

いつもおいのりありがとうございます私も10才になり、仁井田先生のお話を聞きながら、ノートにまとめることにしています。たん生、日、プレゼントや愛をもらったりたくさんお世話になりました。ありがとうございます私も、できる事で、せいはい仁井田先生のことをおいのりします。これからもよろしくお願ひします！

ホワイトデーのチョコです。幸子先生と仁井田先生に分です。よろこんでもらえるとうれしいです。



美優より



## イベントスケジュール

- 6月 3日(火) 南地区女性大会  
6月 7日(土) 教団主催 ペンテコステ・オンライン祈禱聖会  
6月 8日(日) ペンテコステ礼拝・聖霊待望会  
6月 15日(日) 父の日・南地区壮年部集会  
6月 22日(日) 洗礼式(予定)  
6月 28日(土) 壮年部主催 第2回 寄席観る会  
7月 6日(日) プレイヤーウォーキング(祈禱部)  
7月 27日(日) ウィンディチャペル創立 50 周年特別集会(平松契先生)  
11:00~合同礼拝、13:30~信徒訓練会

### ■編集後記

今回、初めてウィンディニュースの記事集めを担当することになりドキドキでしたが、牧師コラムは秒で書き上げてくださり、イースター記事も義明兄が快く引き受けてくださり、とても助かりました。ありがとうございました！

バラの季節真つ盛りですね。五年前、広島のと平和記念公園で見たバラ園の美しさに心を打たれました。今年は五月上旬に大磯の旧吉田茂邸のバラ園を、下旬に伊豆の河津バガテル公園の春バラ祭を訪れました。旧吉田茂邸では、白にピンクの縁取りの大輪が咲き誇っていました。第2次大戦が終わった一九四五年に、戦争のない平和な世界を願って「ピース(平和)」と名付けられた品種です。河津バガテル公園ではアプリコット色の中輪が愛らしい「シンプリ・ヘブン(まるで天国)」が印象的でした。枝にたくさんの花が咲いている様子は品種名の通り、天使が飛び交っているようでした。

胸が痛くなるようなニュースが多い昨今ですが、平和な心でバラをめめることができる世界であってほしいものです。

(田口)

ウィンディチャペル 溝のロキリスト教会  
〒213-0033  
神奈川県川崎市高津区下作延 7-11-12  
TEL・FAX 044-811-3235  
E-mail [mcc@windychapel.com](mailto:mcc@windychapel.com)  
ホームページ <http://windychapel.com>